

2教学改革計画	中期目標	担当責任者 (役職名等)	評価指標 (2020~2024)					主な取り組み (2024 年度計画)	2024 年度及び中期計画期間の主な実績・評価等	
			2020	2021	2022	2023	2024			
②学部等の新設・募集停止・改組・定員管理等	入園率を高める 行政との連携	園長	入園定員充足率(%)	0歳	120	160	140	120	120	R6 年度 4 月には 0 歳児 2 名の入園児ではあるが、昨年同様途中入園の希望・受け入れを積極的に進め、早い段階で定員(以上)に至るよう、市との連携を密にしていく。
				1歳	142	171	171	171	171	
				2歳	100	109	109	110	109	
				3歳	87	107	100	120	120	
				満3歳						
				4歳	113	107	100	100	112	
				5歳	100	100	100	100	106	
				合 計	106	115	111	107	123	
				※実績(見込)						

2 教学改革計画	中期目標	担当責任者 (役職名等)	評価指標 (2020~2024)					主な取り組み (2024 年度計画)	2024 年度及び中期計画期間の主な実績・評価等
			2020	2021	2022	2023	2024		
1 保育園教育保育の充実	(1)園内研修の充実 保育教育計画・記録のIT活用の充実と軽減	園長/主任保育士	年 11 回 研修	年 14 回 研修	年 7 回 研修	年 12 回 研修	年 12 回 研修	保護者に保育生活と保育士の思いを、連続性のあるドキュメンテーションで各クラス発信した。その内容について職員同士の共有に繋げ、保育を高めることに努める。	計画当初は職員同士ポートフォリオで園の保育共有をし、徐々にクラスメールの配信を重ね IT 活用の慣れと記録等の軽減に繋げられた。
		(1) 外部研修参加	園長/主任保育士	26回	28回	29回	28回	外部研修に積極的に参加し、課題を見つけて取り組み保育の向上を図っていく。 また、4園との研修も計画し、保育の刺激にしていきたい。	外部研修に戻されてきている。配信研修も加え課題を見つけて取り組み、保育の向上に努めてきた。連絡園との研修も計画し、保育の刺激をもらっている。さらに充実した計画をしていきたい。
		(2) キャリアアップ研修の推進	園長/主任保育士	4名	3名	1名	3名	保育経験年数に応じ受講を進め、リーダーとしての意識を高めていきたい。 保育経験4年目の職員の研修受講を予定している。	保育経験4年目職員の受講も進められた。自己の学びが会議や保育に活かされるよう、お互いに刺激し合える環境を持っていきたい
	(1)小笠原礼法指導 日常生活の礼儀や作法を身につける。 ① 園児の交流	園長/主任保育士 各クラス保育士	小笠原礼法指導	実施無し	実施無し	実施無し	1回実施	5歳児が大成学園幼稚園で参加。日常とは違った特別感がある学びを経験し作法指導が卒園式にも活かしたい。 また、幼稚園との交流ができ継続したい。職員自身も体験を積み、作法の真を極める機会としていきたい。	市内開催時は5歳児の参加を進めてきた。卒園式時や普段の生活の中での立ち振る舞いに意識しているのが見えた時は褒めたり認めたりし、行動への自信に向けられるようにした。参加した職員から内容を実技で報告を受け、共有していった。
		(2)幼児リトミック指導 ① 職員の研修 ・音感と集中力と体幹をバランス良く育てる。	園長/主任保育士 各クラス保育士	1回実施	2回実施	2回実施	2回実施	職員も年2回参加し、指導の確認をしていく。 専門のリトミック講師により継続実施し、集中力や体幹がつくよう日々の保育に活かしていく。	礼法指導時外でも交流を持ち、園外の同級生との関わりを重ね、抵抗なく会話等が進められる機会としていった。
		(3)英会話 ・異文化に触れながら、外国語に親しむ。		年 7 回実施	年 7 回実施	年 7 回実施	年 7 回実施	英語を母国語とする講師との触れ合う時間であり、異文化に触れ英語への親しみ・興味を深めていく。	指導者からは4/5歳児対象であるが、全クラス年齢に添ったリトミック指導(活動)を進めていることから、職員の参加も継続していった。指導者との1時間の集中と動きは日々の生活につながり、保育の中にも十分に取り入れられている。

	(4)体操教室					年3回	年3回	年3回	年3回	年3回	年10回 1回1時間	継続的に取り組んでいる朝のマラソン・リズム運動等で培われている体幹を専門の体操指導により、更に可能性のある運動能力を伸ばし各自の自信に繋ぎ。また保育士の技術も高めたい	指導者の言葉掛け、子どもの反応を保育士自身も観察し保育に繋げてきた。指導を受け、自分の可能性に気づいたりながら、運動面の自信が高められる時間となっている。
3 親育て支援の役割を意識し保育士の意識を高める。						年2~3回	年2~3回	年2~3回	年2~3回	年2~3回		個人面談・保護者会を実施し、保護者の意見等を受け止めつつ、親の子育てについて支援する役割を認識していく。	保護者の要求を受け止めつつ、親の子育てについて支援するとともに、共に子育てについて理解と保育士の思いを伝えるため面談実施を伝えることもあり、保護者との関係を深めながら保育を進めていった。
4 学園の保育・看護実習園として、保育の環境整備に努める。												クラスでの受け入れにより、保育士自身の学びもあり、実習生の育成のためと共に受け入れ体制を整えていく。	保育士の育成もあり、その存在としての保育園であり、今後も受け入れ体制を整備し受け入れていく。

3 学生募集対策と 学生数・学納金等 計画	中期目標	担当責任者 (役職名等)	評価指標 (2020~2024)					主な取り組み (2024 年度計画)	2024 年度及び中期計画期間の主な実績・評価等	
			2020	2021	2022	2023	2024			
4 園内解放の充実 5 広報活動	定員を超えた入園児の確保 1.保護者に選んでもらえる魅力ある保育園創りに努める。 2 適正な入園児に対する人的配置 親子ひろば「ぬかっぽ」の充実 見学者の受け入れ パンフレット作成及び配布 ブログの公開 地域活動事業の参加	園長 園長・主任 園長 園長・主任 園長・主任 園長・主任 園長	入園者数	0歳児 1歳児 2歳児 3歳児 4歳児 5歳児 合計	6/5 10/7 12/11 13/15 17/16 16/16 74/70	8/5 12/7 12/11 16/15 16/16 17/16 81/70	7/5 12/7 12/11 15/15 16/16 16/16 78/70	6/5 12/7 12/11 18/15 16/16 17/16 80/70	6/5 12/7 12/11 18/15 18/16 17/16 83/70	市と連携し、各年齢の児童数を保ちながら、定員確保に努める。
				※ 入学者数/定員の各年度末実績						
				園長・主任 保育士・各保育士	年度末 1回	年度末 1回	年度末 1回	年度末 1回	年度末 1回	年度末に保護者アンケートの協力を得、意見聴取を実施する。 コロナ禍後、行事への保護者参加人数が軽減されたことでの意見が見られてきたが、今後は園を知ってもらうためにも、祖父母の参加の機会を設定したい。 9月・1月に産休等では、臨時職員の採用と短時間保育士の時間延長の協力を得、保育の安定を保つ事ができた。4月からは3名の採用が予定されていることで、新たなクラス運営に臨みたい。
				園長	16回	30回	30回	30回	30回	10組に満たない参加者の活動になっているが、我が子を通して保護者同士の交流に努めていきたい。保育園の子たちとの触れ合い・関わりの機会を作ったり、園の行事の雰囲気を知つてもらえるよう進める。
				園長・主任 保育士・各保育士						R6年度の入園案内に合わせて、保育園全体がわかるチラシの作成をし、入園募集に努めた。園紹介パンフレットの更なる拡充に努めたい。各クラスメールと共に園全体の行事を中心にブログの公開に努める。 地域の催しに参加し、園のPRと同時に地域に根ざしていけるよう、地域の情報を取り入れていく。
				園長・主任 保育士・各保育士						公立からの引き継ぎで年間30回、募集人数20組等で進めてきたが今年度も6組、出席人數も少ない状況であった。クラス担任が担当でもあるため、次年度より内容を検討していく。
										内容の充実したチラシから、園内の様子を伝えることができる。また、ブログ内容を行事・クラスの様子を公開することで更に知らせることができた。地域への参加は今後の課題とし、情報を得、行動したい。

4人事政策と人材育成、人件費の削減計画	中期目標	担当責任者 (役職名等)	評価指標 (2020~2024)					主な取り組み (2024年度計画)	2024年度及び中期計画期間の主な実績・評価等
			2020	2021	2022	2023	2024		
a) 人事政策について (1) 保育園設置基準に基づき、適正に保育者を配置する。 (2) 短大からの採用を基本とし、連携しながら、より良い人材を確保する。 (3) 認定こども園との人事交流をし、適材適所の職務の遂行を図る。 (4) 園内研修を通して、保育者の質的向上を図る。	園長・法人本部長・事務局長 園長・法人本部長・事務局 園長・主任保育士 園長・主任保育士		4回 年間2種	2回 年間6種	2回 年間4種	6回 年間4種	6回 年間4種	早朝保育7時から・延長保育20時までを2名担当をし、各クラス複数担任を維持している。 4月に短大から3名の保育士採用となり、4年目保育士と共に職員全員対応の園を作りたい。 認定こども園等の園長・主任の情報交換を計画し、職員の研修の充実に努めたい。 短大の講師の講話も計画し、保育の確認と充実に繋げたい。	配置基準が満たされ、保育が円滑に進められた 短大との情報交換を早めに行い人材確保に努め、安定した保育体制を図った。 毎月の連絡会時に園長・主任会を可能な範囲で集合した。保育内容(研修)等の検討・共有・確認を進めていった。 短大の講師からの指導を受ける機会を持ち、更に今後も学びを進めたい。単発的なものと継続してその展開を共有していく研修などを今後も計画し、保育力を高めていく。

5経費削減計画	中期目標	担当責任者 (役職名等)	評価指標 (2020~2024)					主な取り組み (2024年度計画)	2024年度及び中期計画期間の主な実績・評価等
			2020	2021	2022	2023	2024		
保育の充実を維持しつつ、日常的に経費節減の徹底を図る。		園長・主任保育士						消耗品等の整理整頓を心掛け、無駄にする事なく物を大切に使う。	購入先の検討も加え、継続的に無駄使いの削減を図る。

6 施設整備計画	中期目標	担当責任者 (役職名等)	評価指標（2020～2024）					主な取り組み（2024年度計画）	2024年度及び中期計画期間の主な実績・評価等
			2020	2021	2022	2023	2024		
a) 園舎等の老朽化対策	園長	保育室床張替え(2室) 保育室園児トイレの改修	10月 乳児室床張替え及乳児トイレ改修工事 1月 全蛍光灯のLED交換	食器消毒保管庫の入替	大型アスレチックの一部修繕。 FFファンの4台交換。	園舎屋根の遮熱塗装工事・園舎外壁の塗装・駐車場側フェンス改修・園舎側に門扉新設・駐車場整備の舗装及拡大	築37年を経て、屋根の劣化が目立つようになる。雨漏りに至っていない今、塗装等の修繕を進める。園舎外壁は板張りとモルタルになっていて、板の痛み、モルタルの変色から劣化が見える。外壁全体を塗装でこれ以上の劣化を防ぎたい。合わせて保育室内の壁の張り替え等を実施する。 また、園舎北側のフェンスは錆等が目立ってきており改修し、同時に採石を敷いて維持してきた駐車場の舗装整備と多少の拡大を予定している。 門扉の増設は、駐車場と園舎の堀に設置し、子どもの安全確保に努める。	【大規模改修事業概要】 補助事業 令和6年度 就学前教育・保育施設整備交付金（補助率：最大3/4） 総事業費 ①園舎改修工事 23,980,000円(税込) 木工事（遊戯室及び保育室の壁・天井張替、補修） 塗装工事（屋根、外壁、建具等の塗装） テラス工事（既存木製デッキ撤去、樹脂デッキ新設） ②外構改修工事 3,465,000円(税込) 門扉・フェンス工事（門扉新設、フェンス交換） 外灯工事（駐車場該当増設、園舎玄関外灯交換） 舗装工事（砂利駐車場の舗装） ③工期 R6.5以降 (現況写真)  	大規模改修工事は10月28日から足場作りを始める。 園舎の外壁・屋根の塗装を進める。 12月26日に足場の撤去完了 1月9日(木)からテラス2ヶ所の張替え 1月25日(土)にはその作業も終了 1月27日(月)から駐車場・フェンスの修繕 駐車場に関しては、毎日の送迎について保護者への連絡・協力を得て進めた。 2月14日 完了